5. 地産地消と食育活動

1)「食育」の原点である、地域の農業・漁業

留萌市の「食育」や「地産地消」を進める上で、地域の農業、漁業の現状(今)を知ることが大 切です。ここでは農業、漁業の現状について紹介します。

1)農業

留萌市の農業は、夏場の稲作が中心の農業形態であり、農業従事者の高齢化や、農業の担い手 の減少により、市内の農家人口、農家戸数は年々減少傾向で、2025年には、市内の農家人口は 75 人、農家戸数は29 戸と現状の約60%以上減少すると予測されています。(北海道立総合研究 機構中央農業試験場調べ)

主要農作物である水稲の作付面積は約470ha、年間収穫量は2,300トン前後で推移しており、 寒暖の差が激しく、豊かな森に囲まれた環境は米作りに最適な地域であり、丹精込めた品質重視 の米作りを行っています。また、2017 (平成 29) 年度に開催された「ゆめぴりかコンテスト」 において、留萌管内の「ゆめぴりか」が最高金賞を受賞しているほか、全国大会である「米-1 グランプリ in らんこし」において、留萌市内の農業者が金賞を受賞するなど、北海道内屈指の 高品質米生産地として高い評価を受けています。

畑作物としては、転作田を中心に小麦、そば、大豆が作付けされているほか、超硬質小麦「ル ルロッソ」の生産にも力を注いでおり、留萌オリジナルパスタとして注目されています。

野菜については、カボチャ、スイートコーン、アスパラ、ピーマンなどを中心に、約 10.7ha (2017 (平成29) 年度現在)の作付面積となっており、「YES!クリーン」を取得しているピ ーマンは、特に安全・安心な留萌産農産物として、関東圏のイトーヨーカドーを中心に出荷され ています。

また、肉牛については、生産者の努力により留萌産の黒毛和牛の地産地消を推進しており、「あ ずま牛」のブランド名で牛の健康管理はもとより、餌にも徹底したこだわりをもって安全で美味 しい牛肉づくりを行っています。







2017 (平成 29) 年度「ゆめぴりかコン テスト」において、留萌管内の「ゆめ ぴりか」が最高金賞を受賞しました。

| 目標設定 | 現状値 (年度) | 目 標 (2022) |
|--------------------|---------------------------|---------------|
| 北のクリーン農産物表示制度登録団体数 | 2 団体 2017 (H29) | 増加 |

2漁 業

留萌市の漁業は、沖合漁業と沿岸漁業に大別され、沖合漁業は「えび桁網漁業」、「いか釣り漁業」、沿岸漁業は「さけ定置網漁業」、「底建網漁業」、「かれい刺網漁業」、「なまこ桁網漁業」、「たこ樽流し漁業」、「浅海漁業(うに・あわび・海藻類等)」であり、27名の漁業者で営まれています。

年間の漁獲量は約650 t であり、主な魚種については、カレイ類 (142 t)、シロザケ (秋鮭 127 t)、ミズダコ (123 t)、スルメイカ (46 t)、ナマコ (31 t)、エビ類 (甘エビ等 25 t) となっています。

季節別に見ると、春にはカレイ類・ヒラメ・ニシン・ミズダコ・エビ類、夏にはスルメイカ・ウニ類・ナマコ、秋にはシロザケ・ハタハタ・アワビ、冬にはタラ・カジカ・エビ類が漁獲され、四季折々の「旬」があります。

漁獲された水産物は、留萌地方卸売市場で市内の鮮魚店、スーパーなどに『せり売り』などで取引されたあと、皆さんの食卓に並びます。また、市内には漁業者が営む直売店がありますので、常に新鮮な水産物を買い求めることが可能です。



農林水産課調べ



留萌おさかなカレンダー

2)地域の豊富な食素材を活かした地産地消による「食育」

留萌市内には、地産地消のできる直売所や産直イベントがあり、様々な形で地域の豊富な食素材を活かした地産地消による「食育」が進められています。

また、2016 (平成 28) 年 9 月に留萌市かずの子条例が制定され、地域の特産品である「かずの子」を市内小中学校で給食時に提供するなど「地産地消」に対する機運は高まっています。

「留々菜」(直売所)



Aコープルピナス内の産直市場。産直部会「留々菜」 52名の会員の生産者が、自ら収穫し、生産者名を明 記して値段をつけ、店頭に並べています。

留萌市かずの子条例



かずの子の消費拡大と地産地消の推進などを目的として、2016 (平成28) 年9月に議員提案により制定されました。

朝採り やさい市



開運町駐車場を会場に地元農家が生産した野菜の販売イベントを開催。ロコミにより来場者も増え、中心街の賑わい創出につながっています。 (7月~9月)

うまいよ!るもい市



年3回、海産物を中心とした留萌の旬の食材を提供する産直イベントを開催しています。 (5月・6月・7月)

「海鮮店MAP」(直売所)



直売店では、新鮮な旬の海産物を豊富に取り揃えています。

| 目標設定 | 現状値 (年度) | 目 標 (2022) |
|------------------------------------|-------------------------------|---------------|
| 地元産品であることを意識して商品を選択する市民の割合 (再掲) | 57.5% 2017 (H29) | 増加 |
| 地産地消が推進されていることに対する満足度 (再掲) | 30.2% 2017 (H29) | 増加 |
| 産直イベント (うまいよ!るもい市)参加者数 | 17,500 人 2017 (H29) | 増加 |